

(臨床研究に関するお知らせ)

社会医療法人愛仁会高槻病院整形外科・関節センターで人工膝関節置換術を受けられた患者さんへ

社会医療法人愛仁会高槻病院整形外科・関節センターでは、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を「後ろ向き」に抽出して、そのデータを元に整形外科医がどのように手術適応の判断を行うかという臨床研究で、当院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

人工膝関節単顆置換術の適応の術者間の違いに関する研究

2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会高槻病院整形外科・関節センター 副院長・センター長 平中崇文

3. 研究の目的

膝関節の悪い部分だけ人工関節に置換する「部分人工関節置換術」は侵襲が少なく膝もよく曲がるなど優れた治療法です。当院では積極的に関節置換術に取り組んでいますが、全国的には10%も行われていないのが現状です。この差は、実際に治療する患者さんが、部分人工関節に適するか(適応があるか)否かの判断が整形外科医間で異なることも原因と考えられます。そこで、実際に当院で治療した患者さんのデータをご覧いただき、部分人工関節置換術の適応があるかどうかを判断していただく調査を計画しました。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

当院で令和元年5月1日から5月31日に人工膝関節を受けられた方。

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、性別、身長、体重、BMI、術前膝可動域、Tegner Activity Score、Oxford Knee Score、Knee Society Score (Knee Score and Functional Score)、日本整形外科学会変形性膝関節症治療成績判定基準(JOA Score)、術中前十字靭帯の損傷状態、術中の軟骨の損傷状態、術前 X 線写真 5 種類(正面像、側面像、内反ストレス正面像、外反ストレス正面像、スカイラインビュー)などの、臨床所見およびレントゲン所見です。

(3) 方法

診療録や X 線写真などからデータを抽出して統計処理をかけます。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

〒569-1192 大阪府高槻市古曾部町 1-3-13

社会医療法人愛仁会高槻病院整形外科 担当医師 平中 崇文

TEL:072-681-3801 FAX:072-682-3834

E-mail:takafumi.hiranaka@gmail.com